

特別企画 まちの主人公。×スポーツ 第1回 スケートボード

三原でもスケートボードを楽しめるように 松本宏史さん



東京五輪の正式種目にも選ばれ、注目が集まる「スケートボード」。この競技を「多くの人に楽しんでもほしい」と話すのは競技歴15年の松本宏史さんです。松本さんは平成21年にやまみ三原運動公園内にオープンした競技施設「やまみスケートパーク三原」の設立に尽力した一人です。

施設ができる前は、市内に安全に滑れる場所はほとんどなく、練習中に注意されることもありました。「誰にも迷惑を掛けず、安心して練習できる場所がほしい」という思いから、仲間と一緒に半年間で千人を超える署名を集めるなど、設立に向けて奔走。施設ができてからも、大会の誘致に関わるなど競技を盛り上げるた

めにも活動してきました。やまみスケートパーク三原について、松本さんは「設備が整っているため、全国規模の大会が行われたこともある。休日には他市町から練習にくる人も多い」と話します。ナイター設備もあることから、学校や仕事帰りに練習にくる人もいます。

松本さんは「子どもから大人まで年齢に関係なく仲良くなれるのもスケートボードの魅力」と目を細めます。競技自体は個人種目ですが、技を教え合うなど、交流を大切にしています。

「初めて練習に来た人には自分から声を掛けるようにしている。気軽にパークに来てほしい」と笑顔を見せます。



▲パークで高校生スケーターの佐々木 春間さんが練習している様子。松本さんも期待を寄せています



やまみスケートパーク三原

利用可能時間 9時～21時
 ところ やまみ三原運動公園 第2駐車場の北側(沼田東町釜山10253番地1)
 使用料 無料
 ※小学生以下は保護者同伴。
 ※利用前に管理事務所で受け付けが必要。
 〆やまみ三原運動公園 (☎0848・66・3900)

※この企画は、東京五輪に向けてスポーツに対する関心を高めていこうというものです。

三原市の人口 (11月30日現在)	
※外国人住民を含む。	
※()内は前年同月との比較。	
世帯数	43,663 世帯 (+6)
人口	92,064 人 (-1,097)
男	44,264 人 (-550)
女	47,800 人 (-547)
人口移動の詳細については	
広島県 人口移動 月報 で 検索	

税などの納期 (普通徴収)	
○市県民税 (第4期)	○国民健康保険税 (第7期)
○介護保険料 (第7期)	○後期高齢者医療保険料 (第7期)
納期限 2月1日(月)まで	
夜間収納・証明書交付業務の窓口(19時まで) 毎週木曜日	
航空機の騒音測定結果(11月分)(Lden)	
▶正広局(本郷町善入寺正広)	=47.9
▶本郷局(本郷町船木川西上)	=51.9

今月の表紙 \ クローズアップ! /

久井小学校 4年1組の子どもたち



今月の表紙は、久井小学校4年1組の子どもたちが授業の中で今年の干支・牛をモチーフにした年賀状を描いている様子です。久井地域ではかつて、日本の三大牛馬市の1つ「久井(杭)の牛市」が行われていました。子どもたちは地域の歴史を知るとともに、年賀状の書き方などを学びました。

あ・と・が・き
 表紙の撮影で出会った久井小学校の児童たち。一生懸命に年賀状を描く姿に触発され、私も普段会うことのできない大切な人へ思いを牛つと込めた年賀状を送りました▼1年が始まるということは365回の新しい1日がくるということ。今年の目標は自分にできる「新しい」を増やしていくことです▼今年の干支の牛のようにゆっくりでも着実に前に進めるよう、1日1日を大切にしていきたいです(Y)

令和3(2021)年1月号
 第190号 毎月1日発行
 編集発行/三原市広報戦略課

〒723-8600 広島県三原市港町三丁目5番1号
 代表 ☎0848-642111 〆0848-647101
 E-mail: info@city.mihara.hiroshima.jp

再生紙と大豆インクを使用しています。
 点字版や録音CDも発行しています。
 問い合わせは広報戦略課 ☎0848-676007。